

藤沢市防災組織連絡協議会について ～ 報告 ～

藤沢市防災組織連絡協議会

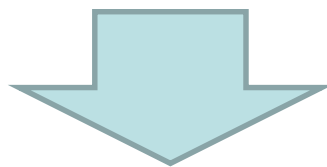
会 長 椎 野 幸 一

(御所見地区防災組織連絡協議会 会長)

藤沢市防災組織連絡協議会報告とお願い

— 目 的 —

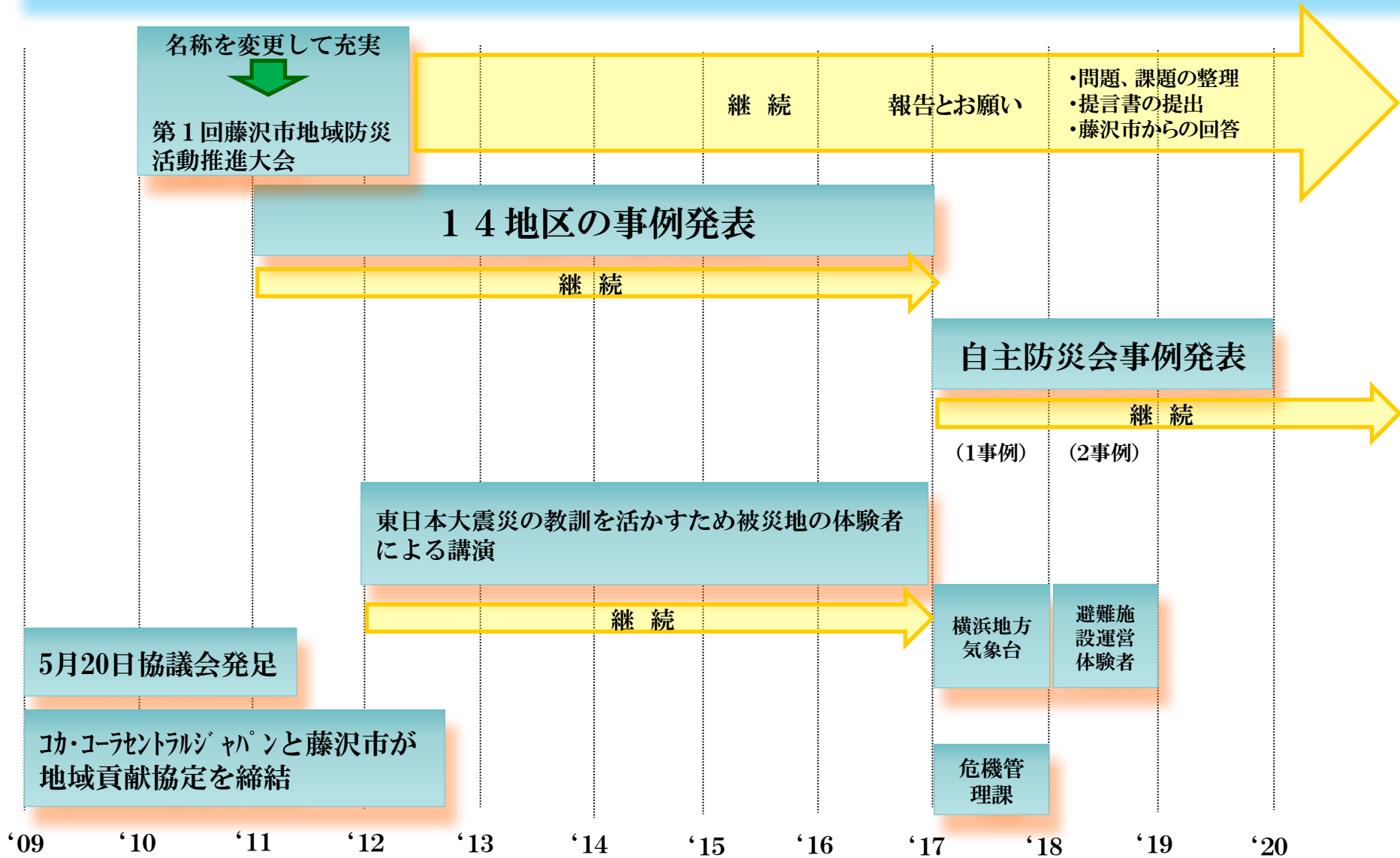
- (1) 防災意識の啓発に関する事
- (2) 各地区防災協議会の情報交換に関する事
- (3) 事業を通じて抽出された課題について検討を行い、藤沢市に提言すること
- (4) その他、本会の目的達成に必要と認めること



先進事例を各自主防災に活かす



1. 藤沢市防災組織連絡協議会の歩み



2. 藤沢市と連携した活動

▼防災活動の推進

- 地区総合防災訓練の実施
- 水防訓練、総合防災訓練等、市への協力

▼津波避難訓練への参加

- 片瀬・鵜沼・辻堂地区の参加協力

▼避難行動要支援者対策

- 自治会・町内会へのアンケート実施
- 30年度計画の周知
- 実践活動の推進

▼危機管理課によるアンケート調査 (自主防災の実態)

- アンケート回収協力
- アンケートの活かし方の提言

▼地域福祉計画の啓発活動

- 地域福祉計画委員会への参加
- 地域福祉計画実践活動推進

3. 地域福祉計画の推進

基本目標

1 地域に関心を持ち、
行動できる人材づくり

2 お互いが見守り、
支えあい、つながる
地域づくり

3 誰もが安心して
暮らせるしくみづくり

◆福祉団体等の活動促進

・活動の場・交流の場づくり

・課題を早期発見・早期対応できる地域づくり

◆災害時の避難支援体制づくりの推進

藤沢市防災組織連絡協議会としての取り組み

- 地域福祉計画推進委員会委員として
福祉団体等の活動推進
- 地区社会福祉協議会との連携推進
- 各福祉法人との連携推進
- ◆災害時の避難支援体制づくりの推進
 - 安否の確認訓練の実施(地域防災力の強化)
 - 互助による支援体制の確立
 - 環境特性による支援体制の検討・実施

4. 自主防災活動における課題改善に向けた取り組み

柱1 自主防災活動の活性化

藤沢市への提言

- ①自治会・町内会加入率低下に対する対応
- ②自治会・町内会へ未加入のアパートやマンション等に対する対応
- ③広報等による定期的な防災への備えに対する意識啓発

自主防災組織が取り組むこと

- ①講話や懇談会の実施
- ②講演会・事例発表会、推進大会等への参加者の積極的な呼びかけ
- ③マンションの住民説明会等を利用した自治会加入促進
- ④自主防災組織と中学校が連携した、ジュニア防災リーダー教育の実施

柱2 避難行動要支援者対策の充実

藤沢市への提言

- ①自主防災組織等へのアンケート調査の実施
- ②先進事例等の周知

自主防災組織が取り組むこと

- ①名簿の管理方法・活用方法等ルール作り
- ②要支援者等の避難行動・避難誘導訓練等の実施
- ③先進事例の紹介
- ④安否確認訓練・アンケート調査を実施することによるPDCAサイクルの循環

柱3 避難施設運営の確立

藤沢市への提言

- ①避難施設運営マニュアルの作成
- ②避難施設運営委員会への女性委員の登用
- ③各避難施設における避難施設運営マニュアル作成の推進

自主防災組織が取り組むこと

- ①拠点本部と連携した開設訓練・運営訓練の実施
- ②訓練結果を踏まえた各施設に則したマニュアルの作成

柱4 各地区防災拠点本部の役割

藤沢市への提言

- ①地区防災拠点本部運営訓練の実施
- ②福祉避難所運営マニュアルの作成

自主防災組織が取り組むこと

自主防災組織と拠点本部が連携した訓練の実施

柱5 災害救援ボランティア受入体制の確立

藤沢市への提言

- ①災害救援ボランティアセンター設置・運営マニュアル等の作成
- ②サテライトセンター設置・運営マニュアルの作成
- ③災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

自主防災組織が取り組むこと

- ①地区拠点本部及びボランティアコーディネーターと連携したサテライトセンターの開設・運営訓練の実施
- ②ボランティア受入訓練の実施

5. 課題改善に向けた報告書の作成

P (計画)

- 各地区防災協が自主防災会に説明
- 提言書の地区単位で説明会を開く
- 地区でやるべき内容
- 自主防災会がやるべき内容に分類する

D (実施)

- やるべき項目をどの様に改善するか決める
- 出来ることから始める

C (評価)

- 実施結果を話し合う

A (改善)

- 完結したものから報告書にまとめる
- 年度ごとに整理する (危機管理課に提出)
- 藤沢市防災組織連絡協議会で先進的な事例を選択
- 各地区に反映する



提出日 2018年7月9日

地区名 御所見地区

自主防災組織の活動における課題改善に向けた提言書に係る、
実績報告書。

取り組んだ項目 自主防災活動の活性化

報告項目	
実施日時	2018年(平成30年)6月16日
実施場所	遠藤市民センター
主催者	藤沢市(御所見・遠藤市民センター・危機管理課・北消防署)、 御所見地区防災組織連絡協議、遠藤地区自主防災協議会
参加主体	御所見・遠藤地区に在住、在勤、在学の中学生以上の方
連携した団体等	
実施内容	AEDの取扱い、心肺蘇生法、三角巾の使い方、防災講話、 炊き出し訓練、消火器操作訓練、ロープワーク、質疑応答、 修了式
実施結果	災害に対する最低限の知識と技術を備えるため、平常時の対策 を実施することで参加者の防災意識が高まった。 遠藤地区と合同で実施することで、地区間の交流が生まれ、「見 る・聞く・話す」といった機会となり、回を重ねる毎に参加者 が増えている。 訓練参加者：53名。 (うち御所見地区28名/遠藤地区25名)

写真等



開業式



AEDの取扱い



炊き出し訓練

提出日 2018年11月19日

地区名 御所見地区

自主防災組織の活動における課題改善に向けた提言書に係る、
実績報告書。

取り組んだ項目 避難行動要支援者対策の充実

報告項目	御所見地区総合防災訓練
実施日時	2018年(平成30年)11月10日
実施場所	御所見市民センター
主催者	御所見地区防災組織連絡協議会・御所見地区防災拠点本部
参加主体	御所見地区自主防災組織、地域住民、地区防災拠点本部従事職 員、避難施設運営委員会、その他関係機関・協力団体
連携した団体等	福祉団体連絡会
実施内容	地区総合防災訓練において、訓練会場到手話通訳者を1名配置 した。また、福祉団体連絡会の受付を設置することで、障害の ある人たちが防災訓練に参加しやすい環境づくりを図った。
実施結果	福祉団体連絡会の受付を設置することで、福祉団体連絡会の会 員5名のほか、8名の受付があり、福祉団体連絡会のPRにも つながった。また、手話通訳は好評であったが、聴覚障がい者 が複数いたこともあり、2名配置して欲しいとの要望があった。 今後も福祉団体連絡会との連携を深め、いざという時の備えを 充実させるとともに、障がい者の不安解消を図っていく。

写真等



手話通訳と福祉団体連絡会受付

まとめ

- * 「備え」は、空振りでもいいから訓練を継続しましょう。
- * 年間活動計画を作成し、P D C Aサイクルを回しましょう。
- * 各地区の防災協議会と自主防災組織の連携をより強化していきましょう。



ご清聴ありがとうございました。
ご清聴ありがとうございました。



藤沢市防災組織連絡協議会
会長 椎野幸一